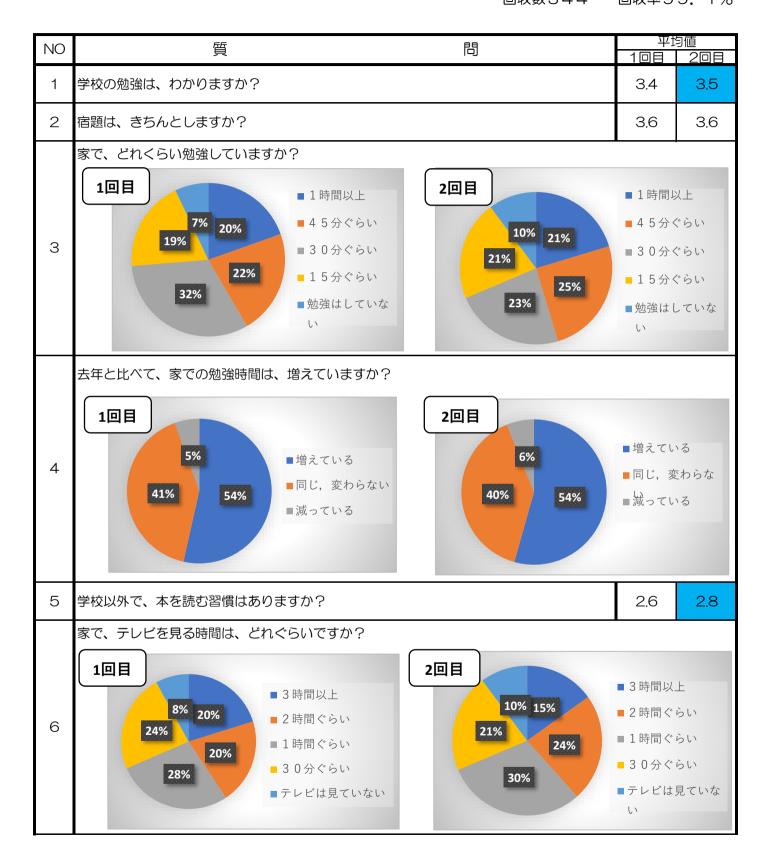
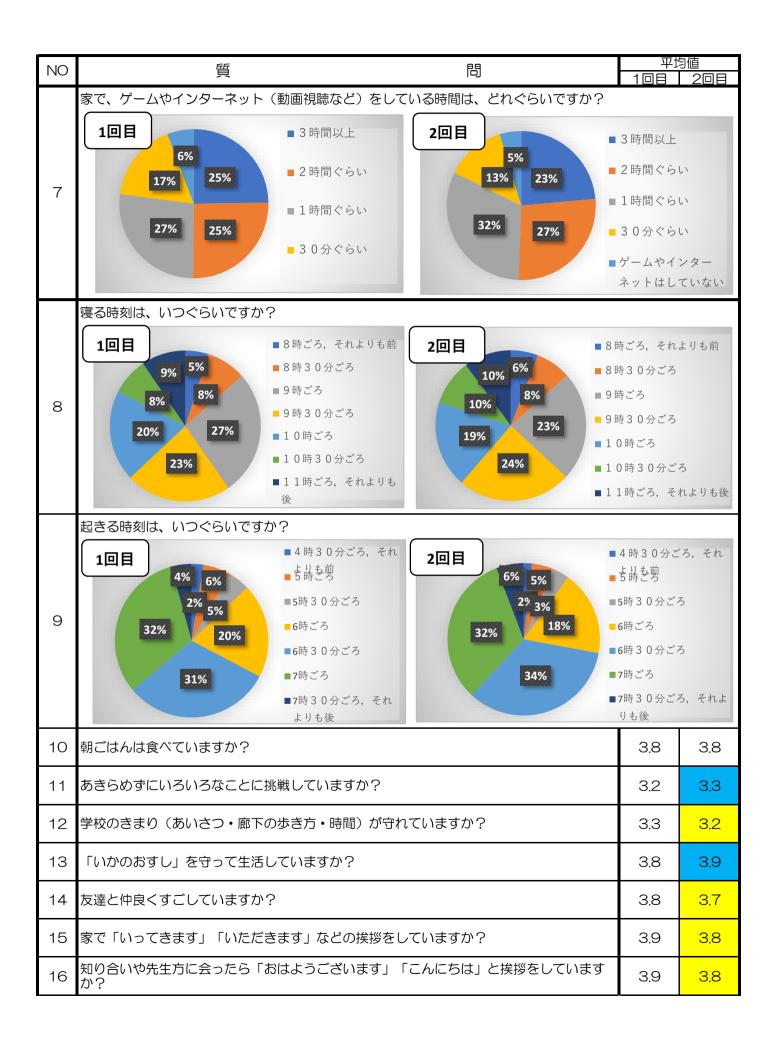
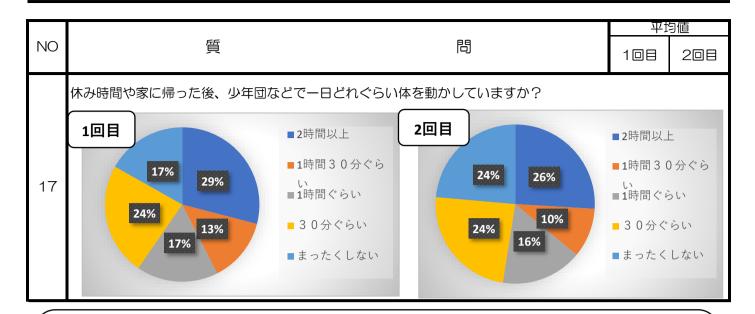
令和5年度 啓北小学校 児童アンケート(後期) 集計結果 【全学年】

%「よく当てはまる」4点、「当てはまる」3点、「あまり当てはまらない」2点、「まったく当てはまらない」1点として平均値を算出 回収数344 回収率99.1%







I 学習について

- ・「学校の勉強はわかりますか?」の設問では、前回よりも高い結果となりました。継続した「わかる・できる授業づくり」が少しずつ実を結んできているのではないかと感じています。今後も一人一人の実態に応じた授業の充実に努めて参ります。ご家庭でも、引き続き宿題や家庭学習の取組へのご協力をお願いいたします。
- ・「学校以外で本を読む習慣はありますか?」の設問では、平均値が前回よりも0.2ポイント上がっています。保護者アンケートでは変化のなかった項目ですが、子どもたち自身の意識は着実な変化があることがわかります。読み聞かせボランティアによる「お話しの会」の取組や、図書委員会の取組、各学級で意図的に本に親しむ取組等を進めてきた結果が、本に興味をもつ子の増加につながっているのだと思います。今後も、子供たちが読書に親しむことができるよう、意図的に本に触れる機会を設定していきたいと考えます。

Ⅱ 家庭生活について

- ・「テレビを見る時間」は、「3時間以上」と回答した児童の割合が前回よりも低くなっています。 しかし、「ゲームやインターネット(動画視聴など)をしている時間」が、「2時間ぐらい」「3 時間以上」と回答した児童の割合は50%と、1回目と同様の結果です。メディアとの上手なつき あい方については、今後も家庭と学校とで協力をしながら、しっかりとよい方向へ導いていく必要 があることがわかります。
- ・「寝る時刻」「起きる時刻」「朝ごはん」については、1回目から大きな変化は見られません。将来に向けてよい生活リズムを身に付けていくことができるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

Ⅲ 学校生活について

・「あきらめずにいろいろなことに挑戦してますか?」の項目については、前回よりもポイントが上がっています。学校では、レジリエンスを高めるための教育活動を全校で意図的に継続して行ってきています。自らの可能性を広げるための"挑戦"を恐れることなくしていく気持ちを今後も高められるようにしていきたいです。

- ・「"いかのおすし"を守って生活していますか?」の項目では、もともと高かった数値がさらに向上しています。家庭や学校での日常的な声かけや、不審者対応の避難訓練や警察の方の講話等によって、子どもたちの意識が向上していることが伺えます。
- ・「休み時間や家に帰った後、少年団などで一日どれぐらい体を動かしていますか?」の設問では、 体を全く動かさない子が若干多くなっています。冬期間はどうしても体を動かす時間が少なくなり がちですが、外で遊んだり、毎日の登下校でしっかりと歩くなどの簡単な取組も意外と効果がある ものです。健康で元気な体づくりを意識的に行っていきたいです。

Ⅳ 全体の傾向

アンケート結果からは、項目によって数値の上下があったり、読書については依然として改善の余地があったりするものの、基本的には高目の結果となり、学校で友達と仲良く過ごし、楽しみながら前向きに伸びていこうという子どもたちの姿が浮かび上がってきます。そして、様々な教育活動や学校行事などを通して、子どもたちがあらゆる面で大きな変化を遂げてきていることがわかります。

一方で、ゲームやインターネット、テレビなどのメディアに触れる時間が長くなるなど、現代を生きる子どもたちだからこその変化もはっきりと見て取れます。

社会の変化はこれまでには考えることができなかったようなスピードで急激に起こっています。今後も、想像ができないほどの速さと規模で子ども達を取り巻く環境は変化をしていくことが考えられます。こうした変化は決してネガティブな側面ばかりではありませんので、そこを否定し続けるのではなく、変化し続ける社会の中で子ども達が生きていく術を身に付けさせていくことが大切なのではないでしょうか。

学校は3月を迎え、どいよいよ今年度の教育活動も大詰めです。4月の進級に向けて、毎日をしっかりと充実させ、新学期をスムーズに迎えることができるよう、全教職員で今後も一丸となって進んで参ります。